

◀ Play Back

TOYO UNIVERSITY

Vol.17

哲学館事件の余波で 井上円了が引退 財団法人の運営に改組

哲学館大学から東洋大学へ



哲学館大学が1904(明治37)年に出した学生募集広告

1 904(明治37)年4月に哲学館は大学部と専門部を置く「私立哲学館大学」として新たなスタートを切りました。しかし、そのわずか1年半後の1905(明治38)年12月、井上円了は学校経営から身を引くことを決意します。それには哲学館事件と呼ばれる大事件が大きく影響しています。

1902(明治35)年12月に哲学館は、中等教育の教員免許の無試験検定の認可という特典を文部省によりはく奪されてしまいます。倫理科の授業内容が、天皇を中心とする日本の国体上不都合である、というのがその理由でした(現在では、国民に皇国意識を植え付けるため文部省が哲学館を見せしめにしたと考えられています)。

円了は翌1903年、この事件の影響を受けた学生の問題が解決しない限り再認可は受けないことを表明します。しかし、学校経営のためには再認可が必要という声

が講師や校友から起き始め、学内は円了支持派と反対派に分裂してしまうのです。この問題が次第に円了を精神的に苦しめ、ついには「神経衰弱症」と診断されました。こうした病気もあって円了は、引退することで学内の混乱の収拾を図ったのです。後任の学長には講師の中から人格者の前田慧雲を指名しました。



円了の後を継いで学長となった前田慧雲。東京帝国大学でも教鞭をとったことがあり、天台宗の泰斗と呼ばれた人格者だった



哲学館大学を東洋大学に改称し、財団法人に変更することを公にした稟告

1906(明治39)年1月1日付で円了は学長を辞職、名誉学長となります。そして円了の意志により、哲学館大学は6月28日に「東洋大学」と改称され、7月4日には財団法人「私立東洋大学」が設立されました。

哲学する心を、持て。

発行日/平成26年3月
発行/東洋大学
編集/総務部広報課
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
TEL 03-3945-7571
URL <http://www.toyo.ac.jp> E-mail mlkoho@toyo.jp
制作/日経BPコンサルティング

→ 次号の発行予定は5月です。

東洋大学報はWEBでも閲覧できます



<http://www.toyo.ac.jp/site/gakuhou/>